

まちづくり交付金 事後評価シート
中央地区

平成20年12月

愛媛県西条市

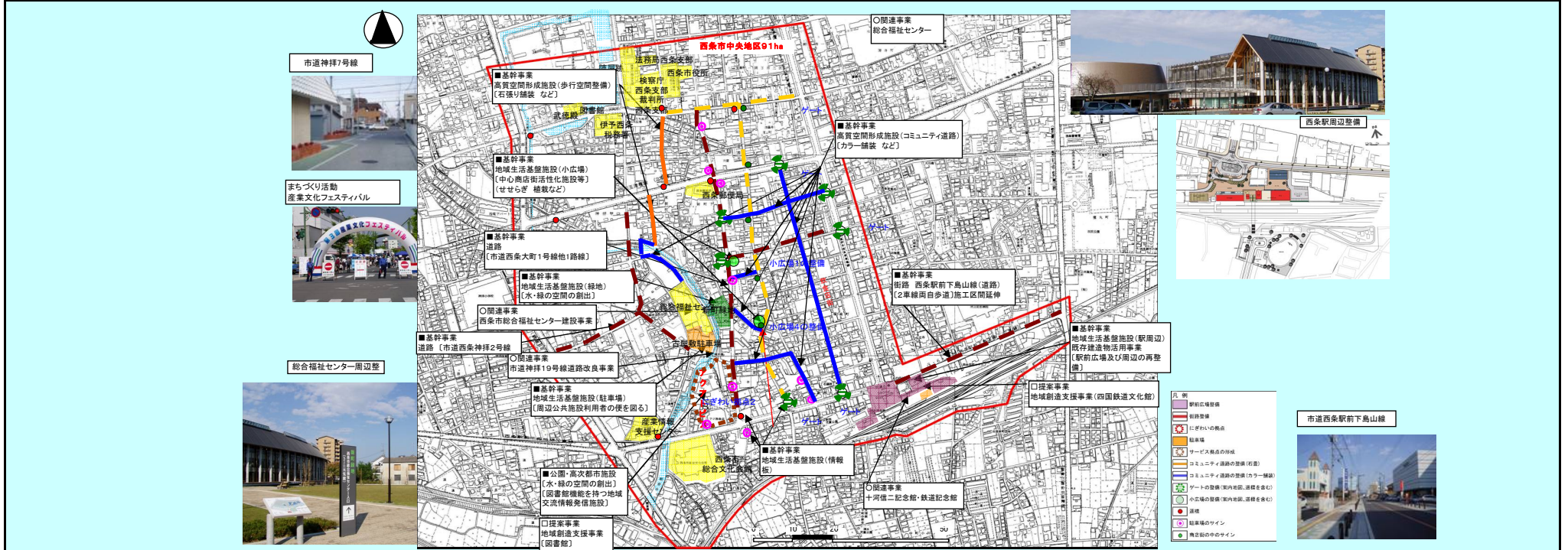
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛媛県		市町村名	西条市		地区名	中央地区			面積	91ha		
交付期間	平成16年度～20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	5,700	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	市道改良事業(2路線)、公園(1箇所・旧クリニック跡地)、地域生活基盤施設(緑地、広場、駐車場、情報板)、高質空間形成施設(コミュニティ道路)										
		提案事業											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	市道神拝22号線他1路線			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	なし						影響なし				
	新たに追加した事業	基幹事業	市道神拝7号線及びその延伸、市道西条大町1号線、市道西条神拝2号線他、地域交流情報センター、観光交流センター			追加理由			追加による影響				
提案事業		四国鉄道文化館用地取得費、図書館機能のある地域交流情報施設、事業効果分析、まちづくり活動推進事業(ソフト対策費)			追加理由			追加による影響					
交付期間の変更	当初	平成16年度～平成20年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	駅の乗降客数	人/日	2,936	15	3,500	20	—	3,198	△	あり●	集客力のある駅周辺の施設「鉄道歴史パークinSAIJO」が整備され、JR伊予西条駅の利用が促進された。	平成22年6月
	指標2	商店街の通行量調査	人/日	9,645	15	11,000	20	—	9,668	△	あり●	新しい拠点となる総合福祉センター周辺や商店街などを結ぶコミュニティ道路の整備により安全な回遊性が確保された。	平成21年8月
	指標3	商店街空店舗数	店舗	71	15	60	20	—	93	×	あり●	店舗兼住宅がほとんどであるため、アーケード商店街は、空店舗となっても、テナントとして参入しにくい状況である。	平成22年2月
	指標4	産業文化フェスティバル商エフェアスタンプラリー参加者数	人	1,796	15	2,000	20	—	2,151	○	あり●	駅周辺や総合福祉センター周辺の新しい拠点を利用したイベントの開催や商店街などを結ぶコミュニティ道路の整備により、イベントの参加者数が増えた。	—
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	まちづくり交付金の効果に関する調査	%	65.58	16	/		—	75.65	/	/	事後アンケート調査による、まちづくり交付金の効果において、事前調査より多くの賛同が得られた。	平成21年11月
	その他の数値指標2					/				/	/		
	その他の数値指標3					/				/	/		
4)定性的な効果発現状況	・住民と行政、商店主らとの対話の機会が増え、行政職員のコミュニケーション能力が向上した。												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた							
	住民参加プロセス	「西条市中心商店街活性化対策協議会」を中心とするまちづくりに関する会合				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●		
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●				
持続的なまちづくり体制の構築	「西条市中心商店街活性化対策協議会」				都市再生整備計画に記載し、実施できた					●	今後も意見を聴取し、まちづくりの参考とする。		
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					●	今後も公民協働のまちづくりに関する機関として意見を聴取する。			
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2-2 地区の概要

中央地区(愛媛県西条市)まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 総合福祉センター及び駅周辺の新しい拠点整備並びに拠点間を結ぶ回遊性の創出による賑わいの再生	駅の乗降客数	単位: 人/日	2,936 H15	3,500 H20	3,198 H20
目標1 新しい都市拠点として、総合福祉センター周辺及び西条駅周辺の整備を行い、集客力を高める	商店街の通行量調査	単位: 人/日	9,645 H15	11,000 H20	9,668 H20
目標2 都市拠点間を結ぶ回遊性のある道路整備を行い、併せて、ポケットパーク・ゲートサインなどの整備により来訪者が安心して行動できる環境づくりを行い中心市街地の賑わいを再生する。	商店街空店舗数	単位: 店舗	71 H15	60 H20	93 H20
目標3 総合福祉センターはアクアトピアと一体化した水・緑に親しめる空間整備を行い、中心市街地ではありながら自然を生かした環境を守り住民の憩える空間としたい。	産業文化フェスティバル商工フェアスタンプラリー参加者数	単位: 人	1,796 H15	2,000 H20	2,151 H20
	まちづくり交付金の効果に関する調査	単位: %	65.58 H16	H20	75.65 H20



まちの課題の変化

- ・新しい拠点施設の集積による集客力の増加と連携した、既存商店街・飲食店街などの民間商業活動の活性化を図る。
- ・新しい拠点間を結ぶインフラ整備と連携して、回遊空間を利用した民間商業活動の活性化を図る。
- ・アクアトピアやうちぬきをめぐる新四国の道などの観光ルートとの連携を図る。
- ・観光交流センター前広場や駅舎前広場などを利用した定期的なイベントを開催し、駅周辺の更なる充実を図る。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・新しい拠点施設の集積による集客力の増加と連携した、既存商店街・飲食店街などの民間商業活動の活性化を図る。
- ・アクアトピアやうちぬきなどをめぐる新四国の道などの観光ルートとの連携を図り、「西条まつり」「うちぬき」「石鎚山」などの観光資源を利用した活性化を図る。
- ・西条市中心商店街活性化研究会や観光協会を中心として新たなイベントを模索し活性化を図る。
- ・商店街の空店舗数の減少のため、チャレンジショップなどが気軽に営業できるような商店主と商店街が一体となった体制が必要。